学校番号	3027

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道の活動では、それぞれの道具のよさを活かし、言葉のイメージを明確にし、試作を重ね、工夫し落款を入れ表具することによって自分だけの作品を制作します。書道は、生活の一端を担っていることから毛筆による文字書きだけでなく、硬筆・墨彩・表具なども一年を通じて学習します。
作品の制作では、構想や表現の工夫・改善等を重ねる過程については、評価の対象となりますのでワークシート等に記入しましょう。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書，書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解を深め、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育み、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ表している。	書のよさや美しさを感受し意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	巻頭	書道の三分野を確認し、臨書・鑑賞・創作の学習を通して自己の創造的表現に生かすことを理解する。	a:書道の分野や学習方法など書道で学習することを理解している。 c:芸術科書道の学習に関心を持ち意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 授業観察 提出作品		ワークシート 授業観察 提出作品
	漢字の書	漢字の書体の変遷と各書体の字形や線質の特徴を理解する。	a:漢字には五つの書体があることを理解している。 b:漢字の書体の変遷について、文字の各目的にあわせて用具・用材をもちいて表現することができる。 c:それぞれの書体の成立過程や歴史的背景を理解しようとしている。	ワークシート 授業観察 提出作品	ワークシート 授業観察	ワークシート 授業観察 提出作品
	唐の四大家に学ぶ楷書	唐の四大家の人柄や政治的立場、人物像を理解する。孔子廟堂・九成宮醴泉銘・雁塔聖教序・顔氏家廟碑について古典を臨書する。	a:唐の四大家の人物像と代表作書道史上の位置づけを理解している。 b:四大家の書風の違いを理解し臨書作品として表現することができる。 c:四大家の４種類の書風の違いが書道史上に果たした役割や位置づけを理解しようとしている。	ワークシート 授業観察 提出作品	ワークシート 授業観察	ワークシート 授業観察 提出作品
	古典を生かした創作をする	四大家の作品から半切または半切 1/8 に臨書作品を創作し相互に比較しながら鑑賞を深める。	a:四つの古典からうける全体的な印象を臨書する紙面の構成を理解している。 b:それぞれの古典の特徴を臨書作品の中に表現し試作を重ねることができる。 c:四つの古典の書風の違いについて、自分と他者との印象を話し合おうとしている。	ワークシート 授業観察 提出作品	ワークシート 授業観察	ワークシート 授業観察 提出作品

	落款印を刻する。篆刻	印の用途や押印した時の表現効果を理解する。 篆刻制作の手順を理解し選文・検字・布字・運刀に関する技法を習得する。	a:印の使い方や種類を理解している。制作手順と必要な用具の使い方を理解している。 b:検字・布字・運刀による表現効果を感じ取り作品に生かす。 c:篆刻に関心を持ち、押印した時に作品効果をもたらそうと積極的に取り組んでいる。	ワークシート 授業観察 提出作品	ワークシート 授業観察	ワークシート 授業観察 提出作品
2学期	蘭亭序行書	行書の主な特徴を理解する。 王義之・蘭亭序について基礎的な知識を身につける。 蘭亭序の用筆・運筆技法を習得する。	a:行書の成立過程・性質を確認し特徴を理解している。王義之と蘭亭序の価値・書風や文章の内容を理解している。 b:蘭亭序の抑揚の利いた用筆・筆脈により自在に変化する文字の姿を感じ表現することができる。 c:筆脈と抑揚を意識して臨書しようとしている。	ワークシート 授業観察 提出作品	ワークシート 授業観察	ワークシート 授業観察 提出作品
	風信帖	空海と風信帖について理解する。 風信帖の臨書を通して字形・線質・点画の特徴を習得する。	a:空海の人物像・書道史上の位置づけを理解している。書かれた経緯や書風・文章の内容を理解している。 b:重厚感のある用筆、安定した字形を表現することができる。 c:風信帖の鑑賞、臨書を通じて用筆・字形などに関心を持ち理解しようとしている。	ワークシート 授業観察 提出作品	ワークシート 授業観察	ワークシート 授業観察 提出作品
	鑑賞	その他の行書、顔真卿・米帯・三筆・三跡の書を比較し唐の書法の受容から国風化へ向かう流れを理解する。	a:それぞれの書風の違いを理解している。 b:書風の違いを理解・把握し表現することができる。 c:それぞれの時代背景を知り、唐から国風化へ向かう流れを理解しようとしている。	ワークシート 授業観察 提出作品	ワークシート 授業観察	ワークシート 授業観察 提出作品
	仮名の書	漢字の伝来から仮名の成立に至るまでの仮名の種類を理解する。 現在の一音一字の平仮名に統一された経緯・変体仮名・片仮名の成立や字源について理解する。	a:漢字から仮名への推移で発生した仮名の種類・性質・字源を理解している。仮名に特有の用筆・運筆を理解している。 b:基本的な筆使いを練習し、特有の留意点を臨書に生かして表現しようとしている。 c:字形や筆使いを意識し字源に関心を持ち書き方を覚えようとしている。	ワークシート 授業観察 提出作品	ワークシート 授業観察	ワークシート 授業観察 提出作品

	蓬莱切高野切	古典の臨書・鑑賞を通して連綿の法則や用筆・運法の技法を理解、習得する。	a:鑑賞により端正な字形や伸びやかに流れるような品格の高い典型的な仮名の美を感じ取ることができる。 b:古典の伝来と若の内容を大意・書風・料紙について理解している。 c:伸びやかな古典の用筆・運筆を臨書し変体仮名の読みを確認しようとしている。	ワークシート 授業観察 提出作品	ワークシート 授業観察	ワークシート 授業観察 提出作品
3学期	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書とは何か、どのような目的で書かれるのかを理解する。 言葉から連想されるイメージや表現の違い・工夫によって創作へ見通しを持つことができるようになる。	a:漢字仮名交じりの書の特徴を理解している。書かれている言葉に着目し、漢字と仮名の調和・書体・書風・紙面構成・用具・用材を確認することができる。 b:漢字と仮名の調和・書体・書風・紙面構成・用具・用材について工夫し、効果を確認し表現することができる。 c:作品を鑑賞し、それぞれの表現の良さを味わうと共に次の創作への見通しを持とうとしている。	ワークシート 授業観察 提出作品	ワークシート 授業観察	ワークシート 授業観察 提出作品
	刻字	刻字が飾られた時の様子を想定し作品を構想する。 刻字制作の手順を理解し運刀や彩色に関する知識や技法を習得する。	a:刻字の活用方法・種類・必要な用具とその使い方・制作手順を理解している。 b:刻字が使われる場面を想定し身近な生活の中に活用されるように表現することができる。 c:身の回りにある刻字・街に息づく刻字に関心を持とうとしている。	ワークシート 授業観察 提出作品	ワークシート 授業観察	ワークシート 授業観察 提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度